

8-2-2 業界展望を考える若手技術者の会

1. 委員会の開催

若手の会は、全国各支部から 20~30 代のメンバーを集め活動を展開している。今年度は委員公募を行い、7 月より体制を新たに始動した。

若手の会は、月 1 回程度の会合とあわせて、他支部の若手組織との連携や業界外の異業種との連携を図っている。今年度はオンライン上にて、定例会を 7 回、イベントを 2 回開催した。

2. 実績報告

(1) プレゼンテーション力を高めるウェビナー

コロナ禍によりコミュニケーションのあり方が変わり、オンラインを介したコミュニケーションでは意図を的確に伝えるためには対面よりも丁寧かつわかりやすい伝え方を意識する必要がある。そこで、伝えたいことを的確に伝える手法としてプレゼンテーション力を高めるウェビナーを開催した。

(2) チームビルディングを学ぶウェビナー

新体制の若手の会では、チームの心理的安全性を高め、メンバーのパフォーマンスを引き出すチーム作りを目指し、1on1 ミーティングやビジネスチャットツール、グループワーク、オフサイトミーティング等を取り入れ、コミュニケーション方法も試行錯誤している。若手の会のチーム作りに限らず、生産性向上を目的とした働き方改革やコロナ禍により働き方が劇的に変化する中で、これからの時代にふさわしい組織像や最新の組織論を学び、「若手からボトムアップでチームを構築・変革」する具体的な方法・知見を学ぶことを目的にチームビルディングを学ぶウェビナーを開催した。

講義後にはグループ（37 名参加）に分かれ、講義で得た学びや気づきを共有した。

3. 次年度の活動について

代表及び委員が新体制となった今年度は、コロナ禍の影響もあり完全オンラインで定例会及び

イベントの運営となった。次年度は新型コロナウイルスの感染状況にも配慮しつつ、全国各支部の若手組織代表者会議や若手の抱える課題に寄り添うセミナー、アンケートの実施のほか、業界外の異業種との連携等を図り、「業界活性化の一大ムーブメントを起こす」というミッションに向けて、試行錯誤をさらに進めていきたいと考えている。

(業界展望を考える若手技術者の会委員長
青柳 竜二)